

愛知県立三谷水産高等学校 平成26年度高大連携事業	
事業名	愛知丸を利用した海洋実習
連携先	名城大学
会場	愛知県立三谷水産高等学校 愛知丸
実施内容	実習船「愛知丸」を用い、三河湾・伊勢湾の特徴的なポイントにおいて水質調査・プランクトン採集等を実施し、海洋環境の実態や保全・改善に係る最新知識を習得する
参加者数	22名
実施時期	平成26年7月29日(火)
申込み方法	電話とFAXによる申込
参加校・参加者数	名城大学大学院生7名、教員7名、その他大学関係者8名程度
改善点	新たな調査ポイントの検討が必要である
参加者の反応	三河湾と伊勢湾の環境の現状を知ることができ、とても驚いていた。また、海洋環境の実態や保全・改善に係る最新知識を習得することができ、とても充実した研修であったという意見が大半であった。さらに、最新技術での水質調査方法が実践できたことは、今後の研究に大いに役立つとの意見が出された。

事業名	大学授業参観
連携先	愛知工科大学
会場	愛知工科大学
実施内容	大学教授が実施する授業の参観
参加者数	20名
実施時期	平成26年7月1日(火)
募集期間	6月5日(木)～23日(月)
申込み方法	FAXによる申込
参加校・参加者数	蒲郡3高校・本校は2名
改善点	6月26日から7月4日までに開催されたが、この時期は実業高校にとっては、就職の求人受付で最も忙しい時期であるため、時期の変更を希望したい。
参加者の反応	大学の高レベルの授業を受講したことで、最新技術や最新科学を学ぶことができ、とてもためになった。コンピュータグラフィックとメカトロニクスとの組み合わせによる人間工学への適用方法は、専門以外の人でもわかりやすく説明されていた。

事業名	学校における特色ある取組等について
連携先	名古屋大学
会場	愛知県立三谷水産高等学校
実施内容	校長による本校の特色ある取組等についての講義と、高大官連携事業のクロアワビの陸上試験養殖施設見学等
参加者数	15名程度
実施時期	平成26年7月18日(金)、平成26年9月22日(月)
申込み方法	電話とFAXによる申込
参加校・参加者数	名古屋大学学生13名程度・教授2名程度
改善点	特色ある取組みの実践例に関する施設見学時間を、もう少し長めに設定したい。
参加者の反応	ベンチャー事業へのチャレンジに関する学校の取組み方法にとっても興味を示され、それに対する実践的な養殖技術を熱心に聞かれていた。高大官連携事業の具体的な連携方法や運営の仕方についての質問が多かったです。

事業名	進路ガイダンス
連携先	豊橋創造大学 愛知工科大学
会場	愛知県立三谷水産高等学校
実施内容	大学の教授による大学生活全般の説明
参加者数	20名
実施時期	平成26年5月26日(月)
案内発送時期	発送していない。
案内送付先	特になし。
募集期間	実施3週間前。
申込み方法	担任を通じて申し込み。
参加校・参加者数	大学は2校のみ。大学教授2名。
改善点	大学への進学は、多分野に広がってきているので、参加大学を増やした方がいい。大学生活の説明だけでなく、体験授業などの実施も検討していく必要がある。
参加者の反応	生徒にとっては、大学生活についてなかなかイメージがわかなかったようだが、大学生活を具体的に教授から話していただいてイメージがわいたようである。大学生活にかかる費用や就職先など具体的な質問を生徒がしていた。